

2014年度 事業報告書

長岡の未来特別委員会
委員長 佐藤直樹

1. 事業内容

- (1) 会員拡大
- (2) 特別会員交流事業 50周年大同窓会 世代別大同窓会
- (3) Forum21 合同例会
- (4) ASPAC 山形大会 2014
- (5) 7月担当公開例会「長岡の未来 CM コンテスト 2014」
- (6) 10月全体事業 フェニックスまつり 2014～新たな一歩で未来への扉を開こう！～

2. 所感

それでは事業内容をひとつずつ振り返りたいと思います。

- ① 会員拡大 拡大の担当はメンバーにさせてあげればよかったと後悔しております。「信じて待つ」をするべきでしたが、早い段階で目標数は達成することができました。毎日、拡大を意識する気持ちを継続することは力になります。
- ② 特別会員交流事業 先輩方からいただいた叱咤激励は、一生忘れることができない印象深い記憶になりました。同窓会というタイトルが混乱を招いたこともありましたが、意識として先輩方をしっかりとおもてなしをすることができたことと、できなかったことがあったように思います。怒られないと行動できないのか、ゴールに向かって一緒に突き進むことができるのか。この意識統一がしっかりとされていないと60周年事業も苦しくなるはずです。ですから、各ファンクションが明確なゴールの設定と意識統一を早期から戦略的に構築していくことが必要だと感じました。
- ③ Forum21 合同例会 本年度のForum21 会長は柏崎 JC 秋山理事長でしたので必然的に事務局も柏崎でした。見たことのある顔ぶれが多く、楽しくさせていただくことができました。一つ感じたのは、もっと若いメンバーを沢山出席できる環境を作ることが必要だと感じました。積極的に名刺交換をすることで会の魅力を感じることができるからです。他 LOM との交流は財産になりますし、積極的にすべきです。人との繋がりを大切にしましょう。
- ④ ASPAC 山形大会 2014 長野大会から5年、本会出向者を中心としたメンバーと拡大スタッフを中心とした参加者構成でした。行き届かない気配りや配慮など反省の多い2泊3日と1泊2日の行程でしたが、隣県での開催でASPACを感じることができました。どこで開催されようともあの雰囲気は変わらないはずです。次年度はマレーシア大会とお聞きしております。皆様、参加してみたいはいかがでしょうか。
- ⑤ 7月担当公開例会「長岡の未来 CM コンテスト 2014」 いいかげんな気持ちとしっかりとやらねばという気持ちが交錯した状態で上程を始めたせいで、スタッフ会議5回・理事会4回とだらしない上程になったこと今でも反省をしております。その結果、募集期間が短くなり出品作品数も少数に終わってしまいました。そして、授賞式の一般来場者数もわずか10名程度と努力が実りませんでした。平日の夜ということもあり、市民の関心を引くためには一定期

間の告知が最低限必要ということも勉強させていただきましたし、公開例会の難しさが身にしました。ただ、映像という手法を選択したことは事業後でも間違っていなかった事と自負をしております。今後必須になる映像というツールを通して触れる機会を創出していくとが大切だと感じた事業でもありました。

⑥ 10月全体事業 フェニックスまつり 2014～新たな一歩で未来への扉を開こう！～

5年ぶりの全体事業ということで、メンバー全員が成長できることが必須というミッションでした。つまり、メンバーみんなが忙しく、事前に打ち合わせに必ず参加しないとヤバくなる事業でないと関心を持ってもらえないでしょうし、耳を傾けてもらえないと考えておりました。スタッフ会議7回・理事会2回と重ね事業をさせていただきました。事業後には、賞賛の声をかけていただき25日・26日をなんとか終えることができました。予定にない生肉の販売ではメンバーの皆様のご厚意に甘えまして、決算報告・期末監査・修正決算と度重なるチェックの不備により多くの方の時間を奪いご迷惑をかけてしまいました。関係各位の方に対してこの場をお借りし御詫び申し上げます。

最後に、リーダーとしてどうだったかを振り返ると、出向副委員長と早期からもっと向き合っておけばよかったと反省をしております。「池田・八木野副委員長に委員長級の仕事を」のテーマのもと彼らを信じすぎ、任せすぎたために引き起こした反省するべき点が山のように散見できました。ただ、この見えたことは想定できることでした。リーダーとして委員長として、このことが運営モチベーションを上げづらくなった要因だと考えています。やはり、「やってみせ・言って聞かせて・させてみせ・ほめてやらねば・人は動かじ」です。このサジ加減が非常に難しかった。また、委員会基本方針にある「全ての原因我にあり」をモットーに1年を過ごせたことは自分を褒めてあげたいと思っております。

本年度の活動が多くの方の糧にさせていただくことをお願い申し上げて委員長所感とさせていただきます。本当にありがとうございました！